京都中央市場新聞

〈発行所〉
一般社団法人
京都市中央卸売市場協会
郵便番号　600-8847
京都市下京区朱雀分木町
京都市中央卸売市場
（関連11号棟２階）
電話　075－323－6777

京都市中央市場に新施設オープン

～新水産棟塩干・綜合部門及び見学エリア～

竣工式ではテープカットが行われた

オープン式典での
辻泰三京都塩干魚卸協同組合理事長の挨拶

オープン式典での
原田光佑京都中央綜合食品協同組合理事長の挨拶

3月19日(日)、新水産棟Ⅱ期エリア(塩干・綜合部門)及び見学エリアの竣工式が行われた。塩干・綜合部門は、令和3年に竣工したⅠ期エリア(鮮魚部門)と同じく、閉鎖型でエリアごとに最適な温度設定を行うなど高度な衛生管理を実現している。東西のトラックバースにより入出荷動線を明確に分離し、物流を効率化したことや、創エネと省エネ等の環境配慮型設備の導入、耐震性強化により災害時の業務の継続性を確保している。

見学エリアは、京都市場の機能や重要性、京の食文化の奥深さ、産地や食材の大切さを知ってもらう等の目的で作られた。新水産棟西側2階の約260mにも及ぶエリアで、早朝のせりも窓越しに見ることができる。まぐろとのフォトスポットやモートラ運転を疑似体験できるなど、大人も子どもも楽しんで学べる施設となっている。また、3階屋上は隣接するホテルエミオンと連絡デッキでつなぐことでJR梅小路京都西駅と直結しており、「京都駅西部エリア」をはじめとする地域の活性化にも貢献している。

竣工式では、事業経過報告のあと、門川大作京都市長が開式の辞として「この度、新水産棟が全面オープンした。昨年、開設95周年を迎えた京都市場の歴史に、更なる1ページが加わった。場内事業者の皆様はもとより、産地や飲食店、小売店、国や京都府の皆様のご協力に、心より感謝申し上げる。3月27日には文化庁の京都移転も実現し、まさに食文化による未来の幕開けである。そして、今は亡き先輩方にも感謝を申し上げる。京都のみならず全国の卸売市場の発展に尽くされた池本周三さん、初代市場協会会長として京都市や世界との架け橋になった内田昌一さん。素晴らしい本日をお二人に捧げて挨拶とさせていただく」と述べた。

続いて、来賓の出倉功一近畿農政局長、山下晃正京都府副知事、田中明秀京都市会議長、辻泰三京都塩干魚卸協同組合理事長、原田光佑京都中央綜合食品協同組合理事長が祝辞を送った。テープカットのあと、出席者は新施設を視察して新しいスタートの喜びを分かちあった。

3月22日(水)には、新塩干仲卸店舗・綜合食品店舗でオープン式典が行われた。店舗の引越しはすべて終わり、初営業日前の朝4時50分、エントランスに関係者が勢ぞろいした。

辻理事長は「本日のオープンで、水産棟がすべて完成した。これもひとえに門川大作市長と故・池本周三氏のご尽力のお蔭だと深く感謝申し上げる。組合員ともども、精一杯頑張っていく」と挨拶し、原田理事長は「組合から5店舗が新水産棟に移転した。我々も頑張っていく」と決意を語った。

来賓祝辞では、古井幸生京都市中央市場長が「京都市場においては、徹底した衛生管理、物流の効率化、そして災害時における拠点機能の強化を実現するべく、大規模な施設整備を実施しており、本日待ちに待った新水産棟Ⅱ期エリアがオープンする。今後は、新施設の利点を活かし、京都市場の更なる活性化、売上げ増に向け、皆さんと一緒に力を尽くしてまいりたい」と述べた。内田隆京都市中央卸売市場協会会長は「両組合の皆様が新しい店舗で営業を開始されますことを心からお祝い申し上げる。3年前からのコロナ禍は、完全に収束したとはいえないが、この完成を機に皆様の店舗・会社がより一層繁栄されることを祈念する。このあと、新青果棟の整備が進められる。新市場が完成した暁には、耐震基準をクリアし、HACCP等、高度衛生管理が可能な国内屈指の市場となる。完成が待ち遠しい」と語った。大石光二大京魚類株式会社代表取締役社長は、新しい店舗の門出を一丁締めで祝った。

塩干店舗のエリア

新水産棟見学エリア入り口

綜合店舗のエリア

新しい塩干冷凍倉庫が完成

1月26日(木)、京都塩干魚卸協同組合の冷凍倉庫が完成し、竣工式が行われた。同倉庫は、施設整備による旧冷凍倉庫の解体に伴って建てられた。地上3階建てで、1階はちりめんじゃこなどに適したマイナス8度、2～3階はマイナス25度に設定される。利用エリアをフェンスで区切り、区画ごとにクーラーの調整ができるため、電力使用量が以前の半分になる見込みである。

竣工式では、飛騨大富(ひだもとよし)市比賣神社宮司が祝詞を奏上したあと、辻泰三理事長が「多数の方にご出席いただき感謝申し上げる。冷凍倉庫は担当者を中心に、安全・安心をモットーに運営していきたい。皆様の更なるご指導とご鞭撻をお願いする」と挨拶した。冷凍倉庫は約1ヶ月間冷やしこみを行い、3月22日(水)から本格稼働する。

建設にあたっては、環境改善効果のある事業への融資「グリーンローン」で資金調達を行っており、2月27日(月)には記者会見が行われた。京都市と国(環境省・農林水産省)から補助金を得て、日本政策金融公庫と京都中央信用金庫が支援を行い、三菱重工冷熱株式会社・三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社が建設及び省エネ型自然冷媒装置の選定・導入支援を行っている。自然冷媒装置のCO2冷凍機は、フロン冷媒と比べて排出されるCO2が少なくなる。また、京都中央信用金庫が独自組成するグリーンローンは今回が初めてであり、白波瀬誠理事長は「環境への影響を抑えた設備に取り組めることは、京都市場を発祥とする当金庫として大変有意義である」と語った。

竣工式では、出席者と組合員一同で
記念写真を撮影

冷凍倉庫は店舗ごとに区画分けされている

京都市中央市場 各団体の人事異動発表

京都市中央市場内の団体では4月1日付けで人事異動が発表された。(敬称略。係長級以上を掲載)

京都市

【新任】▽次長(市場整備統括)　張田和宏▽次長(業務統括)　坂根正樹▽施設最適化担当参事　松村憲司▽計画推進課長　西田兼治▽担当課長　瀬戸隆文▽施設管理係長　村尾庸平▽計画推進第一係長　小野洋▽技術第二係長　菅原良実

京都青果合同株式会社

【役員の担当変更】▽取締役　長尾喜久男　営業部門担当、野菜統括担当兼任、土物・根菜部担当兼任▽執行役員　渕上正一　販売企画推進部担当、果菜部担当兼任、マーケティング部担当兼任▽執行役員　村上勝也　季節・つま物部担当、果菜部長兼任、営業事務部担当兼任

【昇格】部長▽土物・根菜部　岡本嘉宏▽果実部(果樹・苺担当、林檎・瓜類担当)　石井公章／次長▽果実部(果樹・苺担当、林檎・瓜類担当)　溝上洋平／課長▽総務部(総務担当)田代公介▽果実部(輸入果実担当)　長田啓助▽果実部(果樹・苺担当)　石原大督／チームリーダー▽季節・つま物部　林佳高▽京野菜部磯部一典▽果実部(林檎・瓜類担当)　船橋祐樹▽果実部(林檎・瓜類担当)　濱口隆弘

【昇格者以外の変更及び異動】▽総務部(人事担当)課長　中塚有香▽情報システム部次長・財務部次長兼務　栗原竜次▽営業事務部部長　嶋川達也

【採用】▽社長室(広報担当)部長　安田淳司

大京魚類株式会社

【組織変更】鮮魚部を鮮魚1部と鮮魚2部の2部体制とする。鮮魚1部は旧鮮魚部1課、5課が帰属し、鮮魚2部は旧鮮魚部2課、3課が帰属する。

【役職任用・昇格等】▽代表取締役社長　上田和成▽常務取締役管理部門統括総務部長(兼)経理課長和泉恭志▽取締役　大石光二▽取締役アドバイザー　松川伸浩▽営業部門統括　松林隆之▽鮮魚1部部長(活物、特種物、近海遠洋物担当)　乾美樹男▽鮮魚2部部長(魚介製品、一般物、太物担当)　山村信貴▽加工食品部部長　吉田光照▽営業企画部部長　木下有二▽加工食品部副部長(兼)同部第2課長　上原良一▽鮮魚2部副部長(兼)同部第3課長　森藤篤史

春の味覚のおとずれ 朝掘りたけのこ初せり

4月10日(月)、朝掘りたけのこの初せりが近郷野菜卸売場で行われた。

たけのこは、掘り起こしてからゆがくまでの時間が短いほどアクやえぐみが出にくい。京都市場では、京都市近郊でその日の早朝に掘り起こされた新鮮なたけのこを小売店や消費者に届けるために、「朝掘りたけのこ」として、期間限定でせりにかけている。

午前10時40分、せり場には物集女、大原野、乙訓地区のたけのこがずらりと並べられてせりが始まった。入荷量は4kg入りが234ケースで合計936kgと昨年より増加。今年は、3月の高温多雨により前進出荷となり、4月全体の入荷量は前年より減少する見込みであり、単価の上昇が予想される。この日の最高値も、昨年の40,000円を上回る4kg入り45,000円となった。

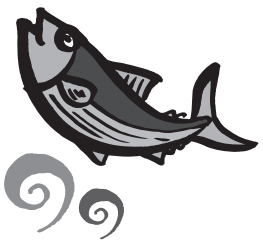
せり場に威勢の良い声が響いた

全水卸組連西日本地区鮮魚部業務部会開催

2月25日(土)、神戸ポートピアホテルで、全水卸組連西日本地区鮮魚部の業務部会が行われ、金沢、名古屋、西日本の関係者が出席した。京都市中央市場からは、京都全魚類卸協同組合の勝村一夫理事長ら役員が出席した。

部会では、令和4年の年末商戦の状況報告と意見交換が行われた。京都市場の田村靖也副理事長が「約2週間続いた寒波の影響により全体に入荷量が減少し、魚価が高騰した。年末商戦とはほど遠く、盛り上がりのない商いに終始した」と報告をした。

続いて行われた懇親会では、碓永信幸神戸市中央卸売市場運営本部本部長による「入国制限や行動制限の緩和があり、5月からは新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げられる。暗いトンネルから抜けていく時期になってきた」との開会挨拶があった。各テーブルでは活発な意見交換や懇親が図られ、和やかな雰囲気の中で終了となった。



京都青果物小売(協)定時総会

2月17日(金)、京都青果物小売協同組合の令和5年度・第74期定時総会が八百廣にて行われた。総会には、組合員41名のうち、31名(出席者11名、書面評決者20名)が出席し、令和4年度事業報告書及び決算、令和5年度事業計画及び収支予算について審議され、可決された。

その後、石塚清三理事長の提案で意見交換会が行われた。今後の組合のあり方や組合員の福利厚生事業への重点促進について話し合われ、集約された意見が来季の活動指針となる予定である。

八女農協に優良出荷者表彰

2月17日(金)、京都青果センター7階会議室で、優良出荷者への市長感謝状贈呈式及び意見交換会が行われた。同事業は、京都市中央市場の発展と京都市民の食生活の向上を目的に、市場と出荷者との結びつきの強化を図るために実施しており、今回の贈呈対象者は、福岡八女農業協同組合で、京都市場にはぶどうやいちご等様々な農産物を出荷している。

贈呈式では、古井幸生京都市中央市場長から野中公彦組合長に感謝状が、溝田正忠ぶどう部会長にぶどうが描かれた飾り皿の記念品が贈呈された。古井場長は「八女農協様は、ぶどうを始めとした農産物を京都市場に優先的に出荷していただいており、心から感謝申し上げる。あじわい館で開催しているぶどうの食べ比べも消費者に好評である。引き続きご愛顧ください」と挨拶し、中川恵司京都青果協会副会長(京都中央市場青果卸売協同組合理事長)は「本日はおめでとうございます。我々仲卸は、素晴らしい農産物をこれからもしっかり販売していくので、末永いお付き合いをよろしくお願いしたい」と挨拶した。野中組合長は「京都市場の皆様の激励に感謝申し上げる。ぶどうは施設園芸で、真夏はハウス内が40度になるなど身を削って作っている。この6年間の実績を見ると、京都市民がぶどうを食べてくれているおかげで、売上がそろそろ10億円を突破する。今後も良いぶどうを作ってお届けし、関係を続けていただきたい」と述べた。

贈呈式出席者による記念写真

その後は意見交換会が行われ、京都青果合同株式会社や京都中央市場青果卸売協同組合も交えて、今後の出荷見通しなどを語りあった。

魚市場遺蹟魚魂碑顕彰・魚供養式

4月2日(日)、伏見区横大路の浄貞院で、京都水産物商業協同組合と魚市場遺蹟魚魂碑顕彰会主催による魚市場遺蹟魚魂碑顕彰・魚供養式が執り行われた。

魚市場遺蹟魚魂碑は、大正8年に水産問屋の大橋喜兵衛氏によって横大路にあった「草津の湊」の繁栄を伝えるため建立された。その後、台風や地震等で倒壊したが、昭和61年に京都水産物商業協同組合の呼びかけで再建された。以後、京都市場の水産関係者が参列する魚魂碑顕彰と魚供養の式典を毎年4月の第1日曜日に執り行っている。今回は、コロナ禍による休止を経て3年ぶりの開催である。

式では、岡本勲会長(京都水産物商業協同組合理事長)の開会挨拶のあと、来賓の張田和宏京都市中央市場第一市場次長と辻泰三京都塩干魚卸協同組合理事長が挨拶を述べた。松尾浩亮浄貞院住職による魚供養回向のもと、参列者が焼香を厳かに進めた。最後に、大隅勇三京都水産物商業協同組合副理事長が閉会の挨拶を述べて終了した。

市場の水産関係者が出席した

京都市中央卸売市場第一市場　青果・水産卸売業者取扱高

(単位:円)

令和4年12月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	4,068,962,187	100.3%	1,834,276,008	100.7%	5,903,238,195	100.4%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	1,397,358,137	104.8%	1,006,503,775	107.0%	2,403,861,912	105.7%
大水	960,266,765	112.8%	908,096,817	116.0%	1,868,363,582	114.3%
合計	2,357,624,902	107.9%	1,914,600,592	111.1%	4,272,225,494	109.3%

令和5年1月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	3,483,955,498	102.5%	1,467,801,150	108.2%	4,951,756,648	104.2%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	890,500,208	105.2%	470,161,318	110.6%	1,360,661,526	107.0%
大水	608,129,200	108.0%	405,316,593	101.5%	1,013,445,793	105.3%
合計	1,498,629,408	106.3%	875,477,911	106.2%	2,374,107,319	106.3%

令和5年2月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	3,498,098,659	100.0%	1,399,601,359	94.9%	4,897,700,018	98.5%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	857,054,321	123.7%	474,881,532	110.3%	1,331,935,853	118.6%
大水	637,070,379	136.8%	418,575,092	103.8%	1,055,645,471	121.5%
合計	1,494,124,700	129.0%	893,456,624	107.1%	2,387,581,324	119.8%

令和5年3月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	4,028,292,632	96.0%	1,669,130,399	103.5%	5,697,423,031	98.0%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	979,996,375	118.1%	530,871,017	100.2%	1,510,867,392	111.1%
大水	709,518,817	122.3%	539,943,568	104.2%	1,249,462,385	113.8%
合計	1,689,515,192	119.8%	1,070,814,585	102.1%	2,760,329,777	112.3%

令和4年4月～令和5年3月

	野菜	前年対比	果実	前年対比	合計	前年対比
京果	48,807,296,377	104.2%	16,840,568,148	99.8%	65,647,864,525	103.0%

	生鮮	前年対比	冷凍・加工	前年対比	合計	前年対比
大京	11,118,600,049	113.3%	6,918,815,858	101.0%	18,037,415,907	108.2%
大水	7,988,300,100	120.1%	6,043,200,606	98.5%	14,031,500,706	109.7%
合計	19,106,900,149	116.0%	12,962,016,464	99.8%	32,068,916,613	108.9%